

平成29年

雲南市議会9月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成29年9月4日～7日】

平成 29 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	9/4(月) 9時30分～	17 / 周藤 強	一問一答	1～2	11	9/6(水) 9時30分～	2 / 中林 孝	一問一答	16～18
2		21 / 山崎 正幸	一問一答	2～5	12		20 / 深田 徳夫	一問一答	18～20
3	9/4(月) 13時00分～	9 / 佐藤 隆司	一問一答	5～7	13	9/6(水) 13時00分～	1 / 上代 和美	一問一答	20～23
4		18 / 堀江 治之	一問一答	7～8	14		3 / 松林 孝之	一問一答	23～25
5		8 / 細木 照子	一括	8～9	15		11 / 藤原 政文	一問一答	25～27
6	9/5(火) 9時30分～	15 / 細田 実	一問一答	9～10	16	9/7(木) 9時30分～	4 / 中村 辰眞	一問一答	27～28
7		5 / 原 祐二	一問一答	10～11	17		10 / 周藤 正志	一問一答	28～30
8	9/5(火) 13時00分～	7 / 白築 俊幸	一問一答	11～12					
9		12 / 西村雄一郎	一問一答	12～14					
10		13 / 土江 良治	一問一答	14～16					

平成 29 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 29 年 8 月 31 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	周 藤 強 (一問一答)	1. 協働のまちづくりについて 2. 安心安全のまちづくりについて	(1) 地域自主組織について ①地域自主組織の全国組織（小規模多機能自治ネットワーク）は 231 団体が加入していると聞かすが、その主な活動内容は。 ②地方自治法に基づき市長が認可する「認可地縁団体」の自治会は本市においていくつあるか。また、その法人でできることは。 ③国に対し地域自主組織の法人化を要請し、この 7 月に、地域自主組織のあり方に関する研究会から報告書が示されたとのことだが、その中で要約して特筆すべきものは何か。また、要請している法人格と認可地縁団体法人との違いは。 ④コミュニティビジネスをしている地域自主組織は 30 組織の内いくつあるか。また、その内容は。 ⑤仮に法人格取得が認められた場合、取得を希望しない地域自主組織の活動はどのような展開になるか。 (1) 豪雨災害時の危機管理について ①公共放送において、天気予報として放送される「雲南市」の観測地点はどこか。「雲南地域」の観測点はどこか。また、地震発生時の雲南市の観測地点はどこか。 ②市内 15 カ所に超高密度気象観測システム（通称：POTEKA）が設置され、運用が開始されたが、具体的にはどのように活用されていくか。 ③時間雨量 50 ミリの降雨が 4 時間連続した場合を想定し、災害対策本部の設置や降雨情報、避難勧告、避難指示等の流れを時系列でシ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ユミレーションされたい。</p> <p>④災害発生時には、災害対策本部と地域自主防災組織との連携が重要となってくる。模擬訓練が必要と考えるが。</p> <p>⑤先例地の状況を見ると豪雨災害時の避難場所は、学校体育館の利用が多いように思われる。それに対応できる避難所としての機能整備が急がれるが考えは。</p> <p>(2) 全国瞬時警報システム (Jアラート) について</p> <p>①Jアラートの仕組み (システム) について問う。また、それは市民への周知ができていますか。</p> <p>②8月18日にJアラートが発信された時、本市はどのような対応をしたか。また、トラブルは無かったか。</p> <p>③8月19日に、鳥取県琴浦町では、Jアラートが発信された時を想定し、町民を対象とした訓練が行われた。本市も必要と考えるが。</p>	
2	21	山崎正幸 (一問一答)	1. 人口の社会増への挑戦について	<p>(1)本市の社会動態によると、平成27年度の152人減の目標値に対して実績値は92人の減少であり、目標をクリアした。反面、平成28年度は97人減の目標値に対し、実績値は164人の減少であった。この結果をどのように分析し、今後どのような対策を講ずる考えか伺う。</p> <p>(2)平成29年度は43人の減を目標値に掲げ、施策推進をしているが目標に到達するには厳しい状況と感じている。その現況について伺う。</p> <p>(3)平成31年度には、67名増の目標値を掲げているが、クリアするために仕事、移住定住に重点を置き、施策推進すべきと考えるが具体的な方策を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(4)待機児童の解消に向け、加茂町に60人規模の保育所建設やきすき認定こども園の整備に取り組んでいることを評価する。住民ニーズの高い「放課後児童クラブ」の整備や「延長保育」に取り組むことが必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>(5)移住定住に向け専属スタッフ5名を配置して、相談や支援を行っている。また、UIターン交流会を開催し、情報や悩み等を共有する意見交換を実施されているが、それらが平成29年度の取り組みに活かされているのか伺う。</p> <p>(6)人口の社会増に向けた取り組みで、最も重要な施策は雇用の創出につきると確信している。一般財団法人日本立地センターへの委託により企業誘致専門員(チーフアドバイザー)を配置し、企業誘致を推進している。昨年54社の企業訪問を実施されたと同ったが、その後の取り組み状況について伺う。</p> <p>(7)企業誘致に向けた取り組みは、地道で根気が必要であり、グローバル化が進行し、厳しい状況であると認識している。企業誘致ありきの発想ではなく、地元にある主産業、基幹産業を守り、振興することが重要と考える。補助制度や支援制度を見直すことも必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>(8)平成29年6月の島根県の有効求人倍率は、1.66倍で全国10番目である。雲南ハローワーク管内においても、求人を求める企業は人手不足が深刻化している。来春、大東・三刀屋・飯南・掛合の高校卒業予定者で、市内への就職を希望している人は82人と伺っているが、地元に着するための支援や行政として何ができると考えているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 公共施設等の総合的な管理の推進について	<p>(9) 企業及び事業所における中学生の職場体験学習の成果の一環ではないかと感じている。今後もこの学習を継続し、市内で働くことの意義や本市の魅力等を教育することが、人口の社会増に繋がると思う。その所見を伺う。</p> <p>(1) 一定の施設を除く 230 施設を対象に、見直しを急ぐ施設から優先度をつけて具体的な取り組みを明確化し、複合化、集約化、譲渡、廃止を実施していくことになる。この種の問題は、総じて総論賛成、各論反対になりがちだ。行政が自発的に取り組むには勇気と強い信念が必要と考える。次世代への負担を抑え、確実に実施するために求められるのは、現状と課題を分析し、取り組みの必要性を市民や利用者にはっきり説明して理解を得ながら進めることと、職員が縦割り組織を超えて計画の意義を理解し、危機感を共有して全庁挙げて確実に実践することが重要である。取り組みに向けての考えを伺う。</p> <p>(2) 雲南市誕生後、5 園の幼稚園と 10 校の小学校において、地元住民が主体となり、十分に議論や協議を重ね、子どもの学びや育ちを最優先して閉園・閉校した。平成 22 年度から 31 年度までの 10 年間の雲南市立学校適正規模適正配置基本計画が策定されたが、総合管理計画実施方針（案）によると、学校は除くとされている。雲南市立学校適正規模適正配置との整合性は考慮されているのか伺う。</p>	
			3. 公共施設維持管理のボランティア作業について	<p>(1) 総合管理計画実施方針（案）によると、対象の公共建築物は、医療、消防、学校、上下水道、インフラ設備、公園等は除くとあるが、インフラの関連で議会報告会や周辺部住民から、住みやすいまちづくりのため自助・共助で行っている草刈りは、人口減少及び高</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>齢化の進行に伴い、年々厳しい状況にある。自助・共助作業も数年後には限界を向かえる地域が発生すると考える。今後の方針について伺う。</p>	
3	9	佐藤隆司 (一問一答)	<p>1. 持続可能な地域づくりについて</p> <p>2. 地方創生に向け</p>	<p>(1) 地域力の底上げ対策について</p> <p>① 市内の小規模・高齢化自治会（世帯数 19 戸以下・高齢化率 50%以上の自治会集落）の自治会数は。</p> <p>② 把握されている現状に対し、問題・課題をどのように整理されているのか。</p> <p>③ 市長は、「世帯力や自治会力の低下が地域力の低下につながっている。そのために地域自主組織を中心としたまちづくりを推進している。」と言われる。把握されている諸課題の解決に向けた今後の対策は。</p> <p>④ 鹿児島県薩摩川内市では「ゴールド集落活性化事業」で、過疎化や高齢化により活力が低下している集落に特化した有利な補助金制度が創設され、定住促進が進められている。周辺地域のさびれ対策や持続的な自治意識の促進、地域振興をするための施策として十分参考となると考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 自治会組織化と地域自主組織への加入について</p> <p>① 新たな住宅団地における自治会の組織化や地域自主組織への加入状況は。</p> <p>② 把握されている現状に対し、問題・課題をどのように整理されているのか。</p> <p>③ 把握されている諸課題の解決に向けた今後の対策は。</p> <p>(1) 住まいの分野について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>た定住基盤の整備 について</p> <p>3. 夢ある産業振興</p>	<p>特に、定住を促す新築・改築に関わる施策は、期待される効果が表れているのか実績を伺う。</p> <p>①子育て世帯定住宅地貸付事業の各年度実績と効果をどう評価されているのか。</p> <p>②子育て世帯定住宅地購入支援事業の各年度実績と効果をどう評価されているのか。</p> <p>③子育て世帯に対する固定資産税課税免除制度での各年実績と効果をどう評価されているのか。</p> <p>④空き家改修補助事業の各年度実績と効果をどう評価されているのか。</p> <p>⑤I ターン者には新築助成、U ターン者には、親世代との同居住宅（2世帯住宅や多世帯住宅）や近居住宅に対する新築・改築助成が必要である。早急に検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥平成 24 年 12 月、平成 25 年 12 月の一般質問で、UI ターン者、子育て世代、地元施工業者を優遇する“合わせ技”による住宅助成で定住促進や市民への需要喚起を高める施策が必要であると求めた。安来市では、「定住推進支援制度」として既に取り組みされている。今まさに再考されるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑦近隣市町を含めた広域圏のベッドタウン化に期待し、住まい地雲南の選択を促すためには、「スマイルうんなん」（住まい＋今いる＝造語）をアピールする必要がある。高速道路通勤助成事業を新設し、一人でも多くの若者や家族に雲南市での住まいが“いいね！”と選択してもらえるようにすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)平成 23 年 9 月の一般質問で、「尾道・松江自動車道の北の玄関口</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について	<p>となるスマートインターチェンジ設置の可能性」についてと「三代地区のブドウ生産技術を生かしたシャインマスカットを普及し、奥出雲ぶどう園との新たな産地形成を図る」ことについて質問した。</p> <p>スマートインターチェンジの設置は、先般、事業化が決定した。一方で、現在、農林振興の面から園芸振興施策が打ち出されている。市の農産物栽培の振興の牽引役として、シャインマスカット産地を目指し、積極的な施策展開を具体的にかつ夢ある展開にする必要がある。</p> <p>①その後の生産者数、栽培面積、栽培本数の状況は。</p> <p>②その後の出荷量の状況は。</p> <p>③今日までのブドウ生産の衰勢はあると思うが、これまで培われたブドウ生産技術を活かし、高級感があり、夢の描けるまさに「プラチナ シャインマスカット」の産地化を図る必要があるが見解を伺う。</p>	
4	18	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 危機管理について</p> <p>2. 所有者不明土地について</p>	<p>(1) 北朝鮮が島根・広島・高知県の上空を通過させ、グアム周辺へ弾道ミサイルを発射させる計画を発表したが、Jアラートによる緊急情報伝達訓練実施の結果について伺う。</p> <p>(2) 雲南市のミサイル発射に伴う避難計画マニュアルはどの様になっているのか伺う。</p> <p>(3) 他自治体では、避難訓練が実施されているが、雲南市では避難訓練をどうするのか伺う。</p> <p>(1) 民間有識者研究会から全国土地の2割が所有者不明と発表されたが、雲南市の実態はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) 地籍調査・公共用地取得に支障をきたすものと思われるがその対応策について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 介護保険事業について</p> <p>4. 道路河川愛護作業について</p>	<p>(3) 所有者不明土地の固定資産税について、どのような現状となっているのか伺う。</p> <p>(1) 雲南地域の第6期(平成27年度～平成29年度)介護保険事業計画の最終年度に当たり、雲南市としてどのような検証・総括をされるのか伺う。</p> <p>(2) 第7期介護保険事業計画策定に当たり雲南市として、どのような方針で臨まれるのか伺う。</p> <p>(3) 団塊世代が後期高齢者となり介護の必要な人が急激に増加すると言われている2025年問題の解決に向け、どのような施策を展開するのか方針を伺う。</p> <p>(1)道路河川愛護作業の実施に当たり、市民の皆さんへの周知はどのようにされているのか伺う。</p> <p>(2)作業実施に当たり付近住人の不参加者より草刈り機の音がうるさい等により中止するよう注意を受ける等トラブルも発生しており、市としての対応が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(3)将来的には、地域環境により地域毎の対応が難しくなることが考えられるが、雲南市として根本的な考えを検討すべきと考えるが意向について伺う。</p>	
5	8	細木照子 (一括)	<p>1. ヒアリ対策について</p> <p>2. マダニの注意対策について</p>	<p>(1)全国では、強毒を持つヒアリの住み着き阻止に全力を挙げられているところが多くある。市民の皆様に、きちんとした知識を持ってもらうために、今から行き届いた対策が必要だと思う。市ではどのような周知や対策を考えているのか。</p> <p>(1)マダニは噛まれて血を吸うだけではなく、「日本紅斑熱」など死に至る感染症がある。市民に対する事前の注意対策が重要だが、ど</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 農作業事故防止対策について</p> <p>4. 水道事業の将来について</p> <p>5. 道路脇の樹木類の管理について</p> <p>6. 道路の路面表示の薄れ補修対策について</p> <p>7. 夜光反射材着用の周知対策について</p> <p>8. 水田農業対策について</p>	<p>のような方法で周知されるのか。</p> <p>(1)現在の農機具での農業は能率的で体にも楽だが、使い方によっては危険を伴う。事故防止対策について指導を重ねる必要があると考えるが、どのように指導するのか。</p> <p>(1)全国的に水道普及率は、ほぼ 100%だが、高度成長期に集中整備された水道管は更新の時期を迎え始めている。事業者の資金不足等が要因で工事が追いつかないようだが、本市の状況及び水道事業の将来をどのように判断されているのか。</p> <p>(1)ことしの1月に降雪があり、地元でも大きな木の枝が折れている。もし、これが通学路脇の樹木だった場合は子どもを巻き込む大きな事故になる可能性もある。以前から道路脇、特に通学路脇の樹木類の管理について心配しているが、管理は行き届いているのか。</p> <p>(1)国道や県道、市道共に路面表示の薄れ補修が行き届いていない。どのような対策を講じる考えか。</p> <p>(1)市として、夜光反射材着用の周知はされているのか。市としての夜光反射材の着用で市民の安全を守る周知対策について伺う。</p> <p>(1)日本の農業を守っていくには、水田農業対策が基本だ。水田対策事業を重要視するよう、国へ充分働きかけてほしいと考えるが、市の所見を伺う。</p>	
6	15	細 田 実 (一問一答)	1. 平和行政について	(1)長崎市で行われた平和首長会議に参加されたが、成果と課題は何であったか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 災害対策について 3. 人権問題について 4. 自動車ご当地ナンバーについて	(2)2020年までの行動計画が決定されたが、市長はどう取り組むのか。 (1)災害対策（特に地震、豪雨）について勉強の機会があり参加し、情報と備えが重要と改めて認識した。特に、連絡、避難、避難所運営などの訓練が必要と感じたが、市でも実施の必要があると考えるがどうか。 (1)戸籍交付の本人通知制度を導入し、不正取得を抑制すべきではないか。 (1)雲南市民が出雲ナンバーをつける意味はあるのか。 (2)市民の意見はどのように集約するのか。	
7	5	原 祐二 (一問一答)	1. 土砂災害について	(1)基礎調査について ① 基礎調査（特別警戒区域）の進捗状況と調査結果について問う。 ② 特別警戒区域（レッドゾーン）の指定スケジュールを問う。 ③ 調査結果の公表方法と調査結果（特別警戒区域）に対する市民の反応状況を問う。 ④ 基礎調査の完了地区における、公共施設（総合センター・学校・交流センター等）や土砂災害時の避難所について、レッドゾーン内となる該当施設を問う。 ⑤ レッドゾーンにおける、建築指導や開発指導による安全対策（構造物の構築等）を講ずれば、特別警戒区域外となるのか。その安全性について問う。 ⑥ レッドゾーン内の公共施設や土砂災害時の避難所への安全対策について問う。 ⑦ レッドゾーン内への公共施設建設について、本市の方針を問う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市民への補助事業について	<p>(2) 警戒避難体制の整備について</p> <p>① 特別警戒区域指定に向けた、新たなハザードマップの作成時期と内容について問う。</p> <p>② 避難勧告等の伝達方法である、音声告知放送及び文字放送（ケーブルテレビ）を有さない世帯（人口）と伝達方法について問う。</p> <p>③ 市民の情報入手方法として、直近に放送した緊急放送を聞くことが出来るテレホンサービスを情報伝達のツールとして整備してはどうか。</p> <p>④ 自主防災組織の防災資材の整備や防災訓練の実施、研修会の開催や参加への活動に対して補助事業を創設してはどうか。</p> <p>(1) 市民からの申請による補助事業（太陽光発電補助金等）の申請状況と予算について問う。</p> <p>(2) 市民のニーズに合わせた柔軟な対応（補正予算による増減）について問う。</p>	
8	7	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 指定管理者制度について	<p>(1) 指定管理者制度の目的は、多様化する住民ニーズに効果的に対応するため、公の施設管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに経費の節減を図ることとされている。経費の節減効果のみが優先されていないか問う。</p> <p>(2) 施設の利用料収入が上がると、指定管理料が引き下げられると聞く。満寿の湯等の収益を目的とする施設では、指定管理者のモチベーションを維持・向上させるインセンティブが働かないのではないか。</p> <p>(3) 地域自主組織では、コミュニティビジネスへの取り組みが進められている。そのねらいは何か。</p> <p>(4) 現在のコミュニティビジネスあるいは自主事業の具体的な取り</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. U・I ターン施策 について	<p>組み状況を伺う。</p> <p>(5) 交流センターにおいても、会議室等の利用料収入が増えると指定管理料は削減されるのか。</p> <p>(6) 地域自主組織が行う交流センターの施設を活用した自主事業についても、利益が出ると指定管理料が削減されるのか。</p> <p>(1) 島根県が県内の U・I ターン者に対し、初めての意向調査を行った。それによると、既に U・I ターンした人の内、住み続けたい人は U ターンで 53.2%、I ターンで 49.5% と何れも約半数だった。本市の状況をどの様に把握しているか。</p> <p>(2) 他地域に移りたい理由は、買い物や通院など生活の不便さがトップだった。市における中心部と周辺部との差異はどうか。</p> <p>(3) I ターン者は友人が出来ない等、人間関係や地域との関わり方に不安を感じているとのことだった。市の対応はどうか。</p> <p>(4) 人口増対策の中心となる U・I ターン施策の今後の展開を問う。</p>	
9	12	西村 雄一郎 (一問一答)	1. 図書施設等雲南 市市営施設のイン ターネットの導 入、運用の状況等 について	<p>(1) 図書施設のインターネット環境等運用、施策展開について</p> <p>① 図書館ホームページでは、市立図書館には利用者用インターネットパソコンが用意されており「調べ物にご利用を」と案内されている。永井隆記念館、掛合、吉田の図書室はどうか。</p> <p>② ネットワークに入っていない永井隆記念館と他図書施設との相互利用等（他館所蔵図書の検索、貸し出し、返却等）の現状はどうか。</p> <p>③ インターネットでの図書の検索データベースに、三刀屋、掛合、吉田の図書施設の所蔵本が入っておらず検索できない。検索データベースに掲載できる本が、質的、量的にないのか。または専任の館長、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>司書が配置されておらず、なおかつ、データベース化の時、市内司書による作業支援がなかったのではないか。</p> <p>④永井隆記念館、掛合、吉田各図書室は県立図書館所蔵本の受取・返却館になっていない。すなわち、三刀屋町、掛合町、吉田町の市民は、大東、木次、加茂町に比べ情報過疎になっている。責任者の図書館長、司書等配置されていないからではないか。</p> <p>⑤市内図書施設における、大東（増床改築中）、木次、加茂各図書館と三刀屋、掛合、吉田の図書施設のインターネット環境、司書の配置、蔵書数、質等の情報格差は余りにも大きい。市の図書情報環境の格差是正、多様な蔵書の配置等充実のため図書館のあり方を抜本的に考えるべきではないか。</p> <p>(2)市営施設のインターネット環境等について</p> <p>①図書館以外の市営施設で、インターネットが導入されていないところはどこか。そしてどういう考え方で導入の基準を定めているか。</p> <p>②上記施設の今後の導入についての考え方、導入計画について問う。</p> <p>③アスパルはインターネットで利用の仮申し込みができる。他の文化施設、交流センター等の貸館施設にも導入すべきではないか。</p> <p>④市のホームページでは、結婚・出産等の暮らしの出来事、健康・福祉等の項目から利用者が望む行政サービス、申請書等までたどり着くことができる。その手法を複雑で分かりにくい補助金に応用し、補助金の利用目的等から適合した補助金が分かり、申請できるようにできないか。</p> <p>⑤2010年に雲南市地域健康医療ネットワーク構築事業が展開され、大東公園体育館など各町1カ所の運動施設に、また木次勤労者青少</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 超高密度気象観測システムについて	<p>年ホーム、交流センターの一部に Wi-Fi が設置された。施策の終了に伴い端末機器等撤去されたと聞いている。健康施策の終了後も Wi-Fi 等は残し、市民、観光客等のための Wi-Fi、インターネット環境として活用すべきではなかったか。</p> <p>⑥訪問観光客にインターネットで、その場で適時、的確かつ興味深い情報を提供することが必要だと言われている。また、市民のスマートフォンのデータ利用が便利になるよう市内各所に無料の Wi-Fi 施設を設ける考えはないか。</p> <p>⑦一方で、Wi-Fi のセキュリティ対策上は有料の携帯各社の提供する Wi-Fi がよいとの考え方もある。携帯各社に観光拠点等に Wi-Fi スポットの拡大を提案する考えはないか。</p> <p>(1)きめ細かな気象情報を生かし、地域毎の警戒数値をあらかじめ決めておき、地域にあった防災、警戒行動へ直ちに移れるよう促すなどに役立てることはできないか。</p> <p>(2)気象データは催し物、販売分野等様々な用途で使われている。防災だけでなく、農業分野、地元商店、仕出し業者、祭り等の主催者が活用できるよう、市においてデータ加工、情報提供等を行ってはどうか。</p>	
10	13	土江良治 (一問一答)	1. 相続登記が行われない土地の寄付を促す新規事業の取り組みについて	<p>(1)相続登記が行われず放棄された土地は、登記簿上は故人のままとなつて相続権を持つ人がどんどん増えていき、売買などが事実上できない「塩漬け」の状態となる。市の事業で発生する土地取引にも影響があると思う。影響があった件数とその解決策はどのように対処したのか。</p> <p>(2)不動産登記簿に相続登記がなされないままの土地について、国は</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 『雲南市学校校歌集』の発刊について</p> <p>3. 市の知名度向上施策について</p>	<p>公的な目的のためなら、所有権をそのままにして利用できる仕組みを来年の通常国会で関連法案提出に準備を進めているが、その適用範囲が今はわからない。とりわけ、全国的に山林の相続登記は低調で林野行政に支障をきたしている。所有者不明のまま放置されている土地の実態を掌握し、「相続登記を勧める」などを検討すべきと思うがどうか。</p> <p>(3)農地や空き地の管理放棄も進むが、山林の管理放棄が進み、竹林の拡大等すべての面で妨げになるケースが出てきている。鳥取県日南町では、森林組合と連携し、寄付に特化した取り組みとして山林を手放したい希望者に寄付を促す新規事業に着手する。作業道の開設などがスムーズになり、伐採木の搬出コスト減につながるなど、一考に値する事業と思われる。市も取り組むべきと思うが。</p> <p>(1)市誕生以降も、生徒数減少で多くの学校が閉校を余儀なくされた。それぞれの学校に校歌があった。校歌には地域の風景が歌われ、聞くだけで土地のイメージがわかる。地元の人にとっては思い出が詰まった「記憶の音楽」である。昭和の合併以降閉校した市内小中学校を含む校歌を収録した後世に残すべき『雲南市学校校歌集』(歌詞の大意、楽譜などに合わせ、校章や校舎の外観、授業風景などの写真掲載)の発行を検討すべきだと考える。</p> <p>(1)市への来訪者を増加させるには知名度の向上が必要だ。市内のトラックなどを所有する事業者、東京や近畿、広島のみならずと会会員の事業者の所有車に市を紹介するラッピング塗装あるいはステッカーを貼り、知名度向上に努めてはどうか。石見観光協会では、石見神楽をPRするトラック用ステッカー、県外では高知県や岐阜県、福井</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 消極的営農を推奨するモデル事業の取り組みについて	<p>市など数多くの取り組みがある。</p> <p>(1) 今回の施政方針で示された園芸振興は、大いに賛成する。これは管理に労力が掛かる高値で売れる農作物を勧めるもので、耕作放棄地解消の面からみると土地利用型ではなく、ハウス内という狭少利用面積だ。まずは集落営農組織ということだが、中山間直払いから撤退する集落があるなか、集落営農組織もできず、遊休農地発生が止められない。引き受け手のない農地を行政として何か打つ手はないか。</p> <p>(2) 石川県では、数年前から耕作放棄地の発生防止、耕作再開を促すため、手間を掛けず収入を増やす蕎麦やハスの花、牛の放牧など省エネ管理が可能で農家が少ない地域特性に合わせた消極的営農で農地荒廃を予防している。この取り組みを参考にして、作目選択はむずかしいところだが、管理労力が掛かる積極的営農の対極にある消極的営農も積極的に模索し進めるべきと考えるがどうか。</p>	
11	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 公共施設の長寿命化策について	<p>(1) 「公共施設の適正化に向けた取り組み」によれば、市が保有する公共施設を更新していくための費用が将来的に 45%不足していくとの試算が示された。公共施設には建築物をはじめ、道路、橋梁、上下水道、水利施設等がある。ここで問いかけている対象の公共施設とは、温浴・ホール・宿泊・体育館・野球場等の公共建築物を指すと解してよいか。</p> <p>(2) 試算で示されている将来費用（103.3 億円/年平均）の推計値のうち、公共建築物、道路、橋梁、水道、下水道、水利施設といったジャンルで区分すると、それぞれどの程度の費用と推定されたか。</p> <p>(3) 「雲南市行財政改革審議会」の諮問を基に公共施設の適正管理を行っていくとのことであるが、過年度に示された「公の施設改革推</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 商工業振興策について	<p>進方針」「公の施設の見直しについて」「同（温浴・ホール・宿泊・体育館・野球場）」の各方針は白紙にすると理解してよいか。</p> <p>(4) ラメールは築 23 年目を迎えた。総務省の資産ソフトの前提となっている公共建築物の耐用年数の考え方によれば、築 30 年で大規模改修、60 年で更新するとある。付属設備、配管等は耐用年数により大規模修繕を行うことになっている。同施設は、冬季の暖房の利きが極めて悪く、観客や出演者の評判が悪い。空調関係を始め、舞台機構、照明、音響、雨漏り等、数多くの問題を抱えている。「雲南市行財政改革審議会」の議論は尊重しなければならないが、早急に対応しなければならないことも事実だ。対応方針、対応策を伺う。</p> <p>(1) 中小企業基本法第 2 条第 1 項に掲げる中小企業数、中小企業の従業員数、粗生産額（出荷額等）の推移を伺う。また、前記中小企業者に分類されない大企業社等も含めた数、額の推移も併せて伺う。</p> <p>(2) 雲南市中小企業振興基本条例は、制定後 3 年余りが経過した。本市の中小企業はどのような推移を辿っているか、同条例の制定したことによる成果、反省すべき点があるか。これらを踏まえて認識と総括について伺う。</p> <p>(3) 本条例は他自治体のそれと比べても充実した内容となっていると評価している。本市の今後の中小企業施策にどのように反映させていくか、どのような展開を考えているか。</p> <p>(4) 地域経済を発展させる一つのカギが地域内経済循環と考える。本市で獲得された所得のうち、域内で消費された額、域外に流出し消費された額は把握しているか。</p> <p>(5) 神原企業団地の分譲の進捗状況について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(6)企業誘致ばかりでなく、企業留置という考え方もある。市内の意欲的な事業者にも積極的な分譲を行い事業規模の拡大を支援する、また、雇用拡大を行う事業所への企業優遇策も必要ではないかと考える。見解を伺う。</p> <p>(7)平成27年、食品表示法が施行されたが、食品の種類に応じて経過措置期間が設けられている。生鮮食品の猶予期限は昨年9月末、加工食品及び添加物は平成32年3月末となっている。市内事業者の対応はできているか。</p>	
12	20	深田徳夫 (一問一答)	<p>1. 6次産業化に向けて</p> <p>2. 雲南市産材の活用について</p>	<p>(1)スケジュールが公表された。第1次産業が高齢化と共に衰退する中で、6次産業の取組みのスピード感、スケジュールを如何に捉えられているのか。</p> <p>(2)先般、市の基本方針として示された内容は、余りにも緻密さに欠けたもので理解ができない。6次産業の成功の道は、基本方針或いは構想の着想などにプランナーの活用が必要と考えるが如何か。</p> <p>(3)第1次産業の特徴ある農産物の創出には、果樹の選択も必要だと思う。JA特産課、島根県立農林大学校などと連携し、早急に研究機関の立ち上げが必要と思うが如何か。</p> <p>(4)中山間地域の農業の生き残りをかけた規制緩和のため、例えば企業や法人立ち上げ農業参入、空き家の購入に伴う小規模農地の取得など考えられる。有効な国家戦略特区の申請をする考えはないか伺う。</p> <p>(1)市産木材の活用については、施策マネジメントにおいて公共事業等での木材利用に努めるとともに市民の利用促進を図るとある。どのような観点で取り組んでいるか。また、実績の所見を伺</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 気象情報の活用 について</p> <p>4. 居住環境の整備 について</p> <p>5. 学力向上・学習 塾等について</p>	<p>う。</p> <p>(2)これから建築が計画される永井隆記念館、中心市街地活性化事業で計画されている SAKURA マルシェ、統合学校給食センター、6次産業化施設など、木造可能な建築物が考えられるが、市が率先して市産木材を活用したシンボリックな建造物を一つでも建て、利用促進を呼びかけるべきと考えるが如何か。</p> <p>(1)超高密度気象観測システム (POTEKA) が市内 15 カ所に設置され運用が開始された。気象情報のサービスはどのような内容か。市民もインターネットを利用して閲覧できるが P R がなされていないのでは。</p> <p>(2)これらの情報が市民にどのように提供され、そのシステムは構築されているか。特に予報などはどの程度知り得ることができるか。今年のような猛暑の場合、熱中症の対策などに大いに役立つと思われるが如何か。</p> <p>(3)その他の活用の考えは。例えば農産物生産の農業活用、健康づくり対策等があると考えられるが、職員提案を含めて検討委員会など設置して利活用を図るべきではないか。</p> <p>(1)河川堤防などは市で一部は除草されるが、繁茂し続ける堤防の草刈は、1年を通した市民の協力が必要である。協力を得る上でも助成制度など検討する考えはないか伺う。</p> <p>(1)学力向上を目指してスーパーティーチャー制度を活用された。28・29年度の施策評価にあるように、大局的に見て学力は横ばいと評価されている。その後、先生方の意欲・向上心につながる研修会はなされているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 健康ポイント制度について	<p>(2) 今後の方針として、教員の授業力向上を図る必要があるとされている。授業力は子供たちの確かな学力を保障する力だと言われている。授業力向上の視点を伺う。</p> <p>(3) 先生が授業時間に力を発揮するために、日常の授業時間のほか、他の業務等による過重負担はないのかを心配する。授業力の向上には自身の学習が欠かせない、対策は講じてあるか伺う。</p> <p>(4) 全ての子どものレベルアップを期待している。松江市は寺子屋事業などに取り組み学力向上を目指している。以前、補完的に誰でも参加できて学力の向上が望める学習塾を提案したが、社会教育の充実として土曜学習などで対応するとの説明であった。今もその考えに変わりはないか伺う。</p> <p>(1) 住民にできるだけ生活習慣病を予防し、健康な体を維持してもらうことを狙い、ウォーキングにより歩いた分だけポイントを貯め、景品や特産品などと交換できる健康ポイント制度が、いま全国的に広がっている。ポイント制度の設置によって健康づくりに活かす考えは。</p> <p>(2) 健康講座や特定健診、ラジオ体操、ウォーキング、いきいきサロンなど、健康増進が考えられるものにポイント制度を設ける事業化をしてはどうかと提案する。検討する考えはないか。</p>	
13	1	上代和美 (一問一答)	1. 市民のいのちと暮らしを守る問題について	(1) 近年大雨による甚大な災害が毎年のように起こっている。どこで大災害が起こってもおかしくない状況である。先般開かれた市政懇談会(大東会場)の地域テーマ『地域防災について』で出された意見もふまえて質問する。災害についての情報入手が難しい方(聴覚障がい者等)、積極的に情報取得しづらい方(機器の操作困難)への情報	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2.SWS 西日本島根 工場閉鎖に伴う離 職者支援について	<p>伝達はどのようにするのか。広報車の出動、地域への連絡はいつの時点で実施されるのか。</p> <p>(2)災害についての情報を早く正確により多くの方へ伝えるためにも、防災無線を早期に設置することが求められている。市でも検討されているようだが、一刻も早い設置の考えはないか。</p> <p>(3)自主防災は地域に合わせた自主的で、多様な形態であっていいと思うが、実際の災害をイメージしたとき、やはり自治会単位で動くことが考えられるのではないか。組織作りにこだわらず、実際に自主防災が機能するような意識作りが必要ではないか。市として自治会での防災意識を促す施策を考えるべきだと思うがどうか。(たとえば災害シーズン前に危険箇所の確認、避難場所、避難勧告の意味など自治会内で確認しておくポイントを紙面を出すなど)</p> <p>(4)中電は島根原発付近の宍道断層を1.5倍に延長し、今までの25キロから39キロへ評価を見直すことを原子力規制委員会に伝えている。ますます大地震が起きる可能性が増している。市民の安心安全を守る立場に立つならば、原発再稼働反対の立場に立ち、国に言うべきだ。同時に松江市と同じ条件の安全協定を一刻も早く中電と締結すべきであるがどうか。</p> <p>(1)今後の取り組みの中で、国保への加入手続きとあるが、今回の場合解雇と言うことになる、健康保険の任意継続はできないのか。また、国保でも平成22年4月から「非自発的失業者への軽減措置」実施されているが、適応になっているのか伺う。</p> <p>(2)500人の求人があると報道されているが、そのうちの正規採用はどれぐらいか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 食の幸発信拠点 事業について	<p>(3)再就職の希望がある場合、退職から次の採用までに職がなくなり、「保育に欠ける」状態にならないが、保育の継続は出来るのか。</p> <p>(4)再就職希望の方は早期にあるいは年内の再就職を希望されているが、個別相談の体制は十分にとれるのか。</p> <p>(1)平成 28 年 4 月に基本計画が出されたということだが、市民にあまり知られていない。</p> <p>再度、事業内容、事業規模、財政的裏づけをどのように想定されているのか伺う。</p> <p>(2)市場規模が小さい中で、尺の内に建設されれば、隣接の道の駅や類似施設との競合になるのではないか。9月補正では「たたらば壱番地」に浄化槽改修予算も計上されている。現在ある施設を有効に使うべきだと考えるがどうか。</p>	
			4. 河津桜周辺整備 について	<p>(1)大東町の河津桜は市の早咲きの桜として年々訪れる人が増え、「桜の町」雲南市の観光スポットとして認知されるようになってきている。しかし周辺の整備がおくれており、特に遊歩道の舗装がされておらず大変歩きにくい。来シーズンに間に合うように前原橋までの整備をしていただきたいがどうか。</p> <p>(2)仮設トイレを、市として3台程度設置することはできないか。</p>	
			5. 国民健康保険の 都道府県化について	<p>(1)市町村には、給付抑制、収納率向上、一般会計からの独自繰入解消への圧力が加えられるのではないか。</p> <p>(2)子どもの医療費無料化などの市町村独自に行っていた施策は今後どうなるのか。また、基金についてはどういう扱いになるのか。</p> <p>(3)国保に対し、3,400億円の公費を投入されるようだが、この公費は国が決めたメニューに沿って配分され、市民の保険料負担軽減に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 核兵器廃絶を求める市の『『平和を』の都市宣言』の意義について	<p>は回されない。国庫負担を元に戻すよう国に強く要望すべきだが、見解を伺う。</p> <p>(1)市長は8月7日から9日まで長崎で開催された平和首長会議に参加され、9日には平和式典にも参列されたと施政方針で述べられた。式典では田上長崎市長が日本政府に対し、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約への一日も早い参加を目指し、核の傘に依存する政策の見直しを進めるよう求められている。一方、安倍首相は、核兵器禁止条約には一言も触れなかった。このことについて市長の率直な見解を伺う。</p> <p>(2)核兵器廃絶を求める市の『『平和を』の都市宣言』の意義を踏まえて、今後どのような施策を展開されるのか、その際、現憲法9条を堅持する立場なのかどうかを伺う。</p>	
14	3	松林孝之 (一問一答)	1. 防災について	<p>(1)市民生活の安心安全の確保は行政の最大の責務である。市内各エリアで起こりうる様々な災害に対し、国レベル、県レベル、自治体レベル、それぞれが果たすべき防災について質す。</p> <p>①異常気象による水害・土砂災害・雪害・冷害、火災には家屋・山林、また、地震・原発事故のような大規模災害、そしてテロといった突発的な事象などがあるが、どのレベルが対応すべきと考えるか。</p> <p>②原発事故、テロについては、自治体で可能な対策は瞬時の周知と避難であり、それ以外は不可能であるが対策は十分か。</p> <p>③新潟県小千谷市では、地震の発生時に行政は全市一斉の対応が求められる中、自らを守るため市民一人ひとりの「事前の備え」こそ重要であるとし、様々な準備がなされている。自主防災組織の構築と同時に個人への意識付けが必要と考えるが所感を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 公共施設管理の 考え方について	<p>④昨今の異常気象による豪雨、土砂災害、豪雪、異常寒波は、市内それぞれの地点での対応が必要である。特に、線状降水帯によるゲリラ豪雨などはどこで起こるか分からない上、緊急を要する。土砂災害と共に浸水被害が同じエリアで起こりうる。POTEKA を最大限活用したデータをもとに、予測と避難に関する情報発信ができないか。</p> <p>⑤河川の最下流域である加茂地区は居住ゾーンとされ、住宅施策のトップであるが、新たな分譲地を建設すると同時に、地区内の河川管理が必要だ。以前のままである中村川の状況を伺う。</p> <p>⑥市内 30 の交流センターは、いちばん身近な避難施設だが、災害の種類と場所によっては一様ではない。リスク分散と情報把握のためには本庁と総合センターの情報連携こそ重要だ。人員配置と情報伝達手段は十分か。</p> <p>(1)平成 28 年 3 月に雲南市公共施設等総合管理計画が示され、行財政改革審議会へ「雲南市公共施設等総合管理計画実施方針」について諮問された。</p> <p>①対象施設設定において、医療・消防・学校・上下水道・インフラ設備・公園等を除いたのはなぜか。</p> <p>②神奈川県秦野市では「ハコモノ・インフラ・プラント」を一括して計画を立てている。例えば学校体育館と社会体育館などは関連性も高く、一元的な視点で計画すべき。除いた分野はいつ計画策定をするのか。</p> <p>③閉校された学校施設は、地域にとっては強固な避難施設でもある。交流センター整備と整合を図り、リノベーションによる有効活用をすべきと考えるが所感を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 中小企業振興基本 条例について	<p>④学校施設の更新は、都市計画マスタープランの人口分布との整合が基本と考える。加茂小学校・中学校の義務教育学校制度導入による統合校舎は、建設イニシャルコストとランニングコスト、更には、教員配置と本市の教育理念である「保育所から高校までの夢発見プログラム」と合致した、雲南市ならではの義務教育課程である。実現のためには、いち早く計画策定が必要であるが所感を伺う。</p> <p>(1)平成 26 年 3 月に「雲南市中小企業振興基本条例」が県内で最も早く制定され、注目を集めた。</p> <p>①地域経済振興会議が設置され、議論を重ねられたようだが、頻度と内容は。</p> <p>②その成果はどこに反映されているか。</p> <p>③加茂地区では商工業者が集まり、地域内経済循環のためのマイクロスーパー事業が展開される。まさしく小規模事業者、商工会、行政が三位一体となった地域経済振興である。モデル事業とし、更なる進化と他エリアへの波及促進を図ってはどうか。</p>	
15	11	藤原政文 (一問一答)	1. 平和行政について	<p>(1)平和首長会議および長崎平和記念式典に参加されての所感と今後の市の平和行政に対する決意を伺う。</p> <p>(2)今年の長崎平和宣言では「核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めると明言しているにも関わらず、核兵器禁止条約の交渉会議にさえ参加しない姿勢を、被爆地は到底理解できません。唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への一日も早い参加を目指し、核の傘に依存する政策の見直しを進めてください。日本の参加を国際社会は待っています。」とされている。市長の所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農業問題について</p> <p>3. 地域包括ケアシステムについて</p>	<p>(3)戦争経験者が少なくなり、戦争の悲惨さ、愚かさを伝えていく人が減ってきている。 戦争を知らない世代の私たちにできることは、これまでの見聞を次の世代にもしっかりと伝えていくことだと考える。市長の所見、市民に望むことは何かを伺う。 農業従事者の高齢化、経営の不透明さなど農業は閉塞感が強い。 (1)農業担い手フォローアップ事業は、一定の成果もあり、農業従事者から拡充の意見もある。来年度以降の取組み方針について伺う。 (2)米価の不安定さも、農業が衰退している一因である。近年、「金芽米」により需要が喚起されている。市として「金芽米」への取組み方針を伺う。 教育民生常任委員会で長崎県佐々町で先進地視察をした。 ここでの視察は、 ・「自分たちのことは、自分たちが一番よく知っている。ビジョンを明確にして取り組んだ。」 ・「できない事の支援ではなくできている事の継続や改善可能な部分の支援へのこだわり、何が出来るようになりたいかという問いに応えながら、自立となったのちも不安なく在宅で過ごせるための地域支援体制の整備が必要。」 ・「地域包括ケアの構築は地域づくり。」 など、参考になるものだった。 (1)市は、身体教育医学研究所、いきいきサロンなど既に個々には取組みが進んでいる。新たな取組みを進めるということではなく、既に取組まれている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ことの拡充、連携をどのようにするかの問題だと思う。所見を伺う。</p> <p>(2)市全体で取組みを進めるには、市民の力は必要不可欠である。身体教育医学研究所の地域運動指導員をはじめ、心のケアを含めた推進員の養成が必要と考える。住民への協力体制について、どのように取り組む方針か。</p> <p>(3)佐々町では推進をするうえで「行政のおごりであってはならない」ことを念頭に推進された。行政の押しつけではない、市民の自発的な協力体制が重要であると考え。現在、地域自主組織などへの説明を進められていると聞くが、更なる啓発活動が必要と考えるが、今後の方針を伺う。</p>	
16	4	中村辰真 (一問一答)	<p>1. ご当地ナンバーについて</p> <p>2. 環境対策に関すること</p>	<p>(1)登録自動車用ご当地ナンバーについて</p> <p>①現在の進捗状況は。</p> <p>②本市におけるメリットをどのように考えているか。</p> <p>(2)原動機付自転車のご当地ナンバーについて</p> <p>①登録自動車のご当地ナンバーと同時に原動機付自転車のご当地ナンバーを導入するチャンスと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)温暖化防止、二酸化炭素排出量抑制について</p> <p>①本市の二酸化炭素排出量抑制に対する取組みについて伺う。</p> <p>②本市の ISO14001 取得経緯を伺う。</p> <p>③ISO14001 と省エネ法の関係性について伺う。</p> <p>④本市庁舎において年間消費される紙を削減することは温暖化防止につながると考える。ペーパーレス化を検討するべきではないか。</p> <p>(2)可動式自立電源照明「くえびこ」について</p> <p>①本市として 6 基を購入し、各総合センターへ配置予定と聞く。配</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 障がい児通学支援について</p> <p>4. 意思疎通支援に関して</p>	<p>置場所を総合センターとした理由を伺う。</p> <p>②中学校の自転車小屋には明暗差の大きい場所がある。安全確保の観点から学校へも配置してはどうかと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)クールアース・デーについて</p> <p>①毎年7月7日が「クールアース・デー」として制定されている。本市の取り組み状況を伺う。</p> <p>②クールアース・デーの一日で二酸化炭素排出量を420トン削減できるとされている。本市でも地球温暖化防止の意識のもと積極的に取り組むべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)6月定例会において支援学校に通学する児童に対する通学支援を求める請願が採択された。これを受けて支援策の検討が行われた。個別対応が必要と考えるが検討結果について伺う。</p> <p>(1)聴覚障がい者にとって手話は最大のコミュニケーションツールであり、意思疎通手段である。</p> <p>①言語のバリアフリーの観点から、手話言語条例の制定が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2)大活字活用について</p> <p>①大活字図書配置状況について伺う。</p> <p>②保育所・幼稚園・こども園・学校での活用は有効と考える。さらに、視力に不安を感じる高齢者に対して有効的である。積極的に大活字図書を活用すべきと考えるが見解を伺う。</p>	
17	10	周藤正志 (一問一答)	1. 持続可能であるための3つの土台について	<p>(1)財政について</p> <p>①財政規模が縮小していく中で、大型事業が目白押しだ。「本当に大丈夫なのか」という市民の疑問・不安に対して、納得がいく説明</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 行政運営について	<p>が必要だ。</p> <p>②やがて終了する合併特例債についての使途など、基本的な考えはどうか。</p> <p>(2)インフラ整備について</p> <p>①人口減少が続いていく中で、将来世代に大きくのしかかるのが膨大な量のインフラの維持・更新だ。現状を維持するには45%も予算が不足すると推計されており、早急に対処する計画を立て着実に実践していくべきだ。</p> <p>②遊休資産の処分は進んでいるか。(例：旧三刀屋総合センター跡など)</p> <p>(3)セーフティネット構築</p> <p>①助け合い精神に基づく、小規模多機能自治の取り組みは、コミュニティ再興としてまさに日本の先頭を走っている。今後の展開と目標は何か。</p> <p>②何でもかんでも地域自主組織へという安易な流れになっていないか。(例：〇〇審議会委員の推せんなど)</p> <p>③いわゆる「買物弱者」対策の7割が赤字という新聞報道があった。市の買物弱者の実態と対策(移動販売事業など)の現状はどうか。</p> <p>(1)大型事業などにおいて、スムーズに進捗しない事例が最近多くなった。組織的な問題があるのではないか。</p> <p>(2)行政認定にもかかわらず、ブラック保育園(例：姫路市)が大きなニュースになった。市における業務委託や指導監査は適正に行われているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. さくらおろち湖 について	(1) 水質は大丈夫か。 (2) イベント等十分に活用されているか。 (3) 20 年後には桜の名所となっているか。	